

# 確かな安全管理を実現できる 組織の概念

池田裕二郎  
J-PARCセンター

平成25年8月9日  
第5回 有識者会議

1

## 安全文化の創成：3つの柱

- 安全を最優先とする組織体制の構築
  - センター長直轄の安全統制
  - 安全評価の外部委員による透明性
  - 安全監査機能の強化
- 安全を施設のすみずみまで浸透させる行動マニュアル
  - 兆候を察知し、行動に移せる体制
  - 安全運営を施設運営の基本理念に据えたマニュアル
- 安全を継続的に持続発展させる文化の醸成
  - スローガン
  - センター員・ユーザー教育
  - 放射線事故を想定した事故対応訓練

安全な  
組織

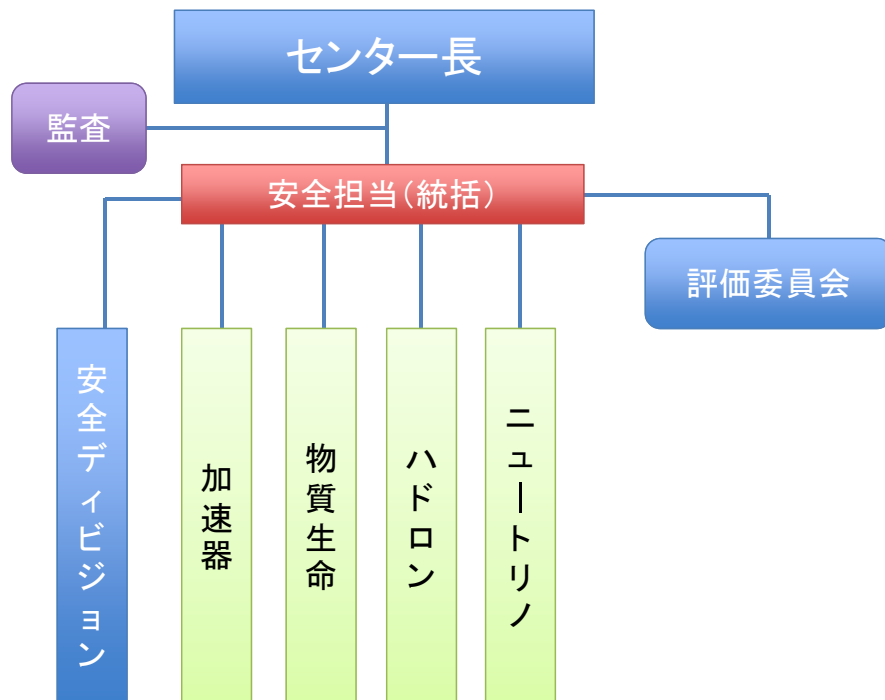
安全な  
現場

安全の  
持続

2

# センター長直轄の安全統制

センター長が安全担当に指示し、安全管理に関する監査を実施  
安全担当は、外部監査を依頼



3

## 安全管理体制の抜本的な改革

- J-PARCはJAEAとKEKが共同で運営する利用施設、成果を最大にするミッション、
- ハドロン事故からまなび、サイエンスが安全に支えられていることが明らか、
- J-PARCは安全を最優先の施設として再生
- 施設はもとより、ユーザ、地域住民の安全を守る、そこで、
- センター長が責任を負うJ-PARCセンターの安全管理体制の抜本的見直し

### ① 外部の力の積極的導入

- ・安全推進室(安全統括)を置く: 外部専門家を室長とし、透明性、独立性を高める
- ・外部委員による安全評価委員会: 外部の専門家による重要事項の審議

### ② 指揮命令系統の明確化

- ・ハドロン、ニュートリノセクションの設置
- ・組織と施設の統括者の責任と権限の一致
- ・緊急時対応に迅速に移行できる「注意体制」の導入

### ③ 放射線管理の統一基準による新たな仕組み

所掌施設によらないJ-PARCセンターとして一元的に管理

4

## J-PARCセンターの新安全組織構成概念

①外部専門家の血を入れた  
安全の統括機能の導入による  
抜本的改革



③JAEA・KEKの区別をなくし、  
一元化した新たな管理体制の導入

5

## センター長の責任と権限

- センター長の責任で関係各所に通報 **対外**
- 安全体制構築に関する責任と権限のJAEAとKEK母体組織からの委譲 **対内**
  - セクションの追加権限: 指揮系統のや管理系統の明確化
  - 責任者のJ-PARCセンター本務

6

# 安全推進室(統括)について

- 安全統括は副センター長クラス、センター長の直属
- 安全ディビジョンを所掌
- 各施設の安全に関わる事項を統括
- これを組織することで変わること
  - 機能の明確化、業務内容の整理
- 役割、機能
  - センター長への助言
  - 緊急時対応の本部設置と司令塔
  - 安全にかかわる規定類の整備指示
  - 安全審査の事務局業務
  - 安全協定締結に向けた業務統括
  - 教育訓練、事故等の実地訓練
  - 安全文化醸成活動の策定・先導

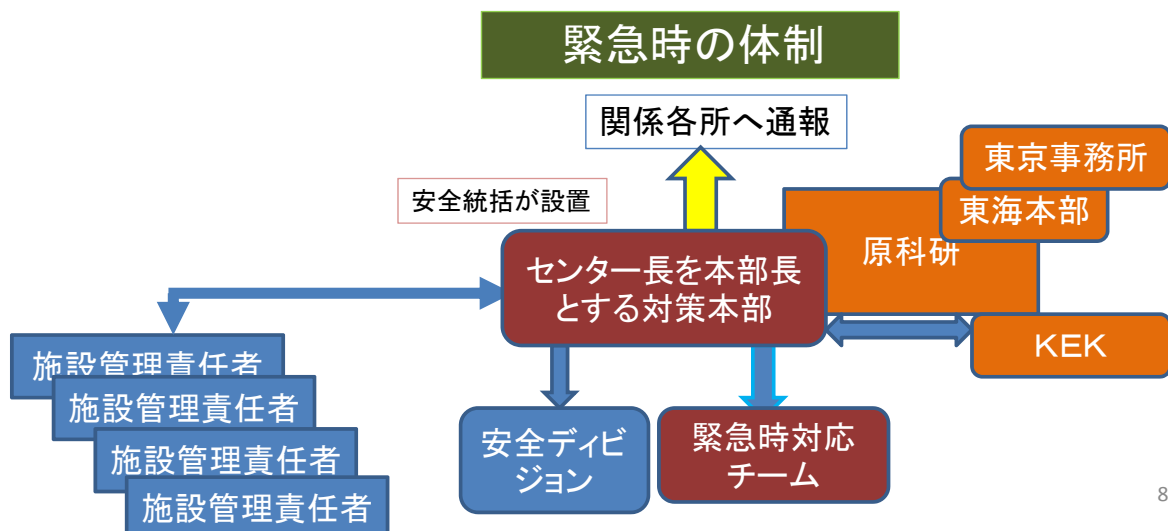
7

# 緊急時体制(案)

## • 緊急時の統括の抜本的改革

### – 安全統括の機能役割:

- 大きな権限: 緊急対策本部の設置、安全ディビジョンの指揮、センター全体安全の司令塔、外への通報の起点、



8

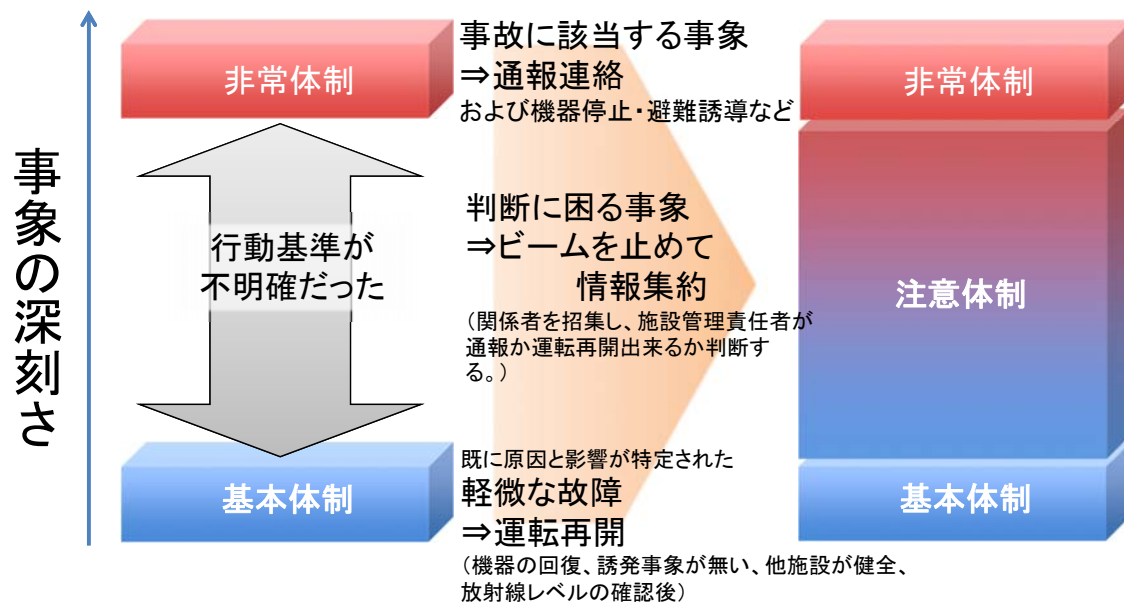
# 施設管理責任者の役割

- 各施設運営の統括責任
- 各施設の事象を把握し適切な判断
- 注意体制時の最高責任者、指揮者
- 緊急時には安全統括の指揮下

9

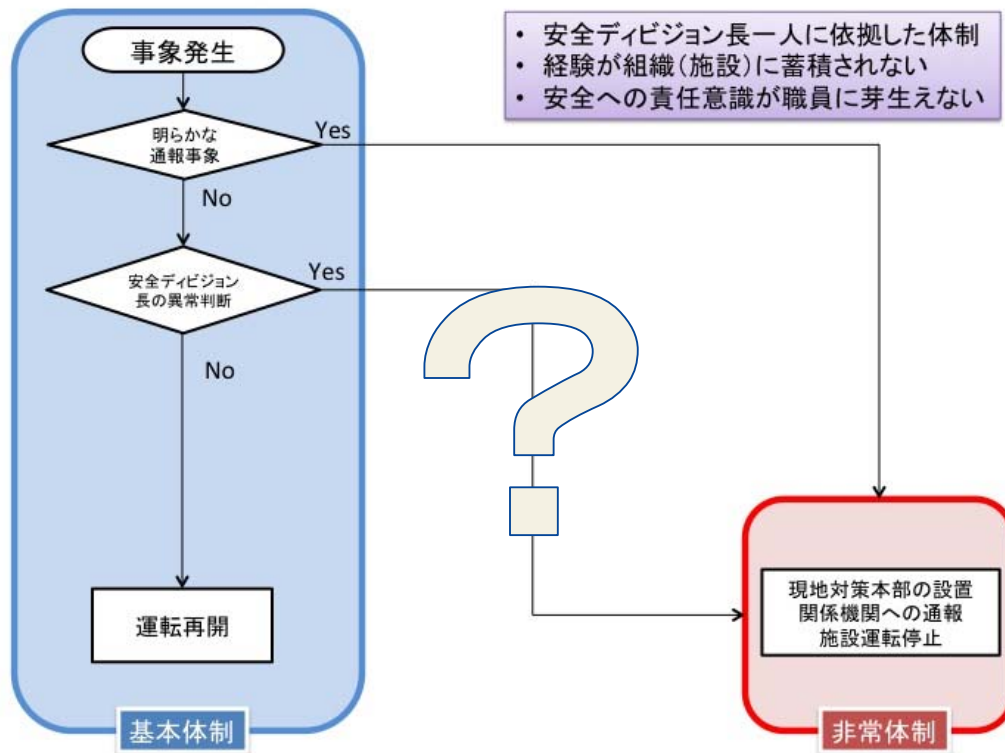
## 「注意体制」で、即行動

- 行動基準が曖昧であった従来を反省し、すぐに行動に移せるように「注意体制」を定義。



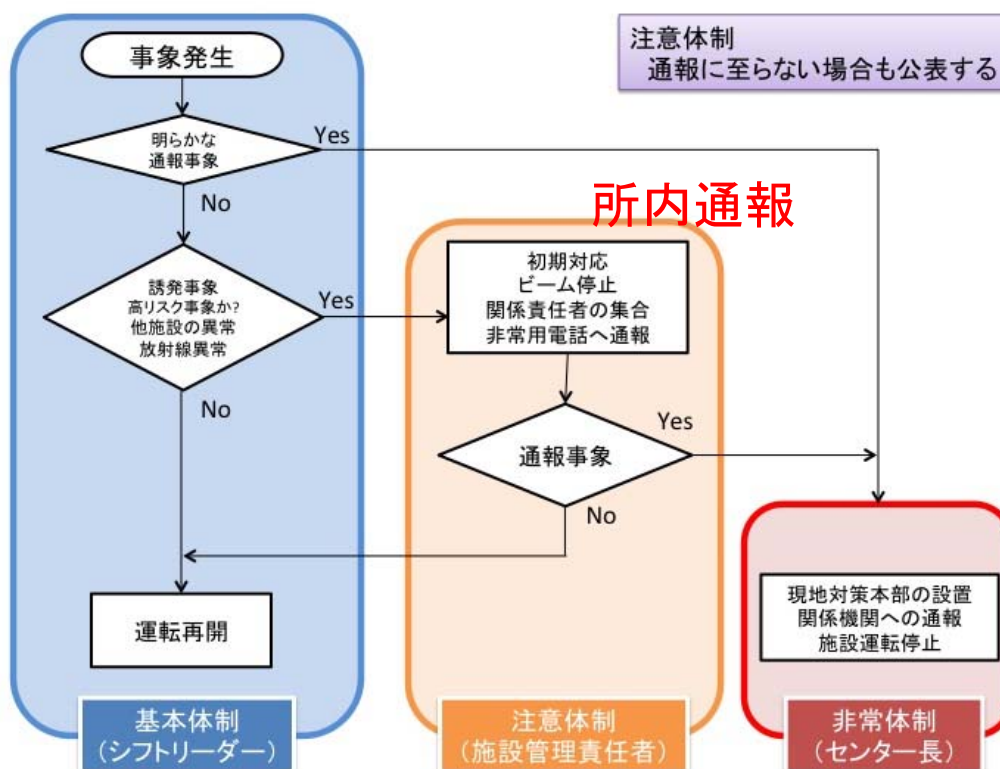
10

# 異常発生! (改善前)



11

# 異常発生! (改善後)



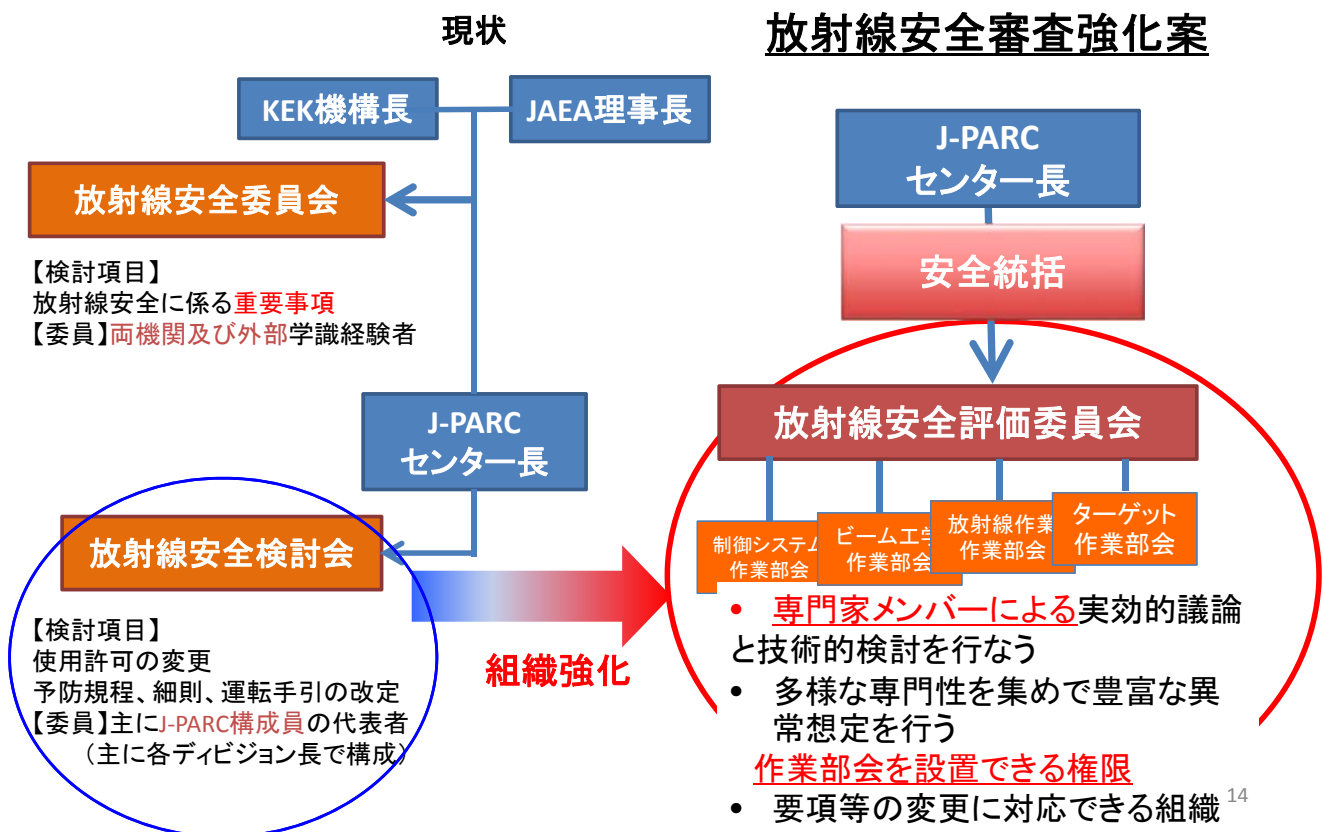
12

# 安全審査の強化

- センター長の元に放射線安全評価委員会
- 実効性のある審査：
  - 外部専門家を含む専門家で審議
  - 課題ごとに専門部会
  - 例えば
    - ミュオン回転ターゲットの新たな設置
    - 使用後水銀ターゲットの交換作業
    - ハドロン標的の新たな設計評価
  - センターが責任をもって申請

13

## 放射線安全に係る委員会組織の強化案



# 安全文化醸成による組織の強化

- J-PARC安全スローガン
- ヒヤリ・ハットを用いて議論を深める
- 専門家の安全講演会
- 他施設の事例から学ぶ教訓
  - ハドロン事故の教訓が一番
- 放射線事故を想定した訓練
- フランクな意見交換会
- J-PARC安全ポータルサイト
- 安全カード



안전 제일  
Safety FIRST  
não corra riscos



15

## J-PARC安全ポータル

新着情報   ガイダンス   規定類   事故、トラブル事例   講演、教育   eラーニング   外部リンク

- 平成25年度第1回J-PARC放射線障害予防規程に基づき、J-PARCの放射線業務従事者の教育訓練を実施(1回目)です。教育訓練を以下の通り行いますので、J-PARCの放射線業務従事者として認定されている者、および、放射線業務従事者として認定されている者として受講してください。この教育の受講の義務はありません。
- 講義項目:.....
- J-PARC非常事態訓練の説明会を実施
  - 平成25年度のJ-PARC非常事態訓練の実施要領を説明します。
  - 日時:平成25年9月12日(木)14時~16時
  - 会場:中央制御棟打合せ室
  - 対象:

16



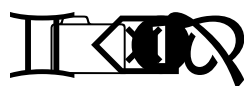
# J-PARC安全宣言！


再生J-PARCは、新しい安全管理体制と安全審査体制を構築し、「安全無くして研究無し」という基本理念のもと、ユーザと共に

## 「安全な実験環境と世界的研究成果の創造」

を目指します。

平成25年8月9日  
J-PARCセンター長  
池田裕二郎





### 安全カード

No Safety, No Research

- + 放射線はクローズ、情報はオープン
- + 迅速な行動／決断は日頃の備えから
- + “オープンマインド”は研究と安全の基本
- + ひとりひとりの危機意識・みんなの安全

17

## まとめ

- J-PARCを安全優先の研究施設として再生する為の安全組織の構築
- 安全文化創成の為の3つの柱
  - 組織の改革:「安全推進室」の設置と審査体制強化
  - 現場の行動基準の明確化:「注意体制」と手引き類改訂
  - 教育・訓練による不断の改善努力
- 形骸化させない**決意**
  - センター員、ユーザ一人一人が安全に責任を担っていることを意識してもらう。
  - センター長をはじめとするマネジメントの安全への熱意を持続して伝える。

両機構が支える  
J-PARCの安全とサイエンス

宇宙・物質・生命・エネルギー

